

教育委員会

学校教育部

- 1 基本理念 夢を育て、人をはぐくむ学びのまち さんだ
- 2 めざす子ども像 自分が好き、人が好き、このまちが好き、
夢に向かって歩むさんだっ子
- 3 基本目標
 - (1) 「生きる力」を育む教育を推進します
 - (2) 魅力ある学校をつくり、家庭・地域と共に子どもの学びを支援します
 - (3) 学びを支える環境を整備します
- 4 施策の内容
 - (1) 「確かな学力」の育成
 - ア 子どもの可能性を拓く資質・能力の育成
 - イ 育ちと学びをつなぐ教育
 - (2) 「豊かな心」の育成
 - ア 道徳性を育む教育
 - イ 「共生」の心を育む教育
 - (3) 「健やかな体」の育成
 - ア 体力・運動能力の向上
 - イ 食育・健康教育
 - ウ 安全・防災教育
 - (4) 一人一人が大切にされる教育の充実
 - ア 特別支援教育
 - イ 生徒指導・相談体制の充実
 - ウ 保護者の経済的負担の軽減
 - (5) 社会的自立に向けた教育の推進
 - ア キャリア形成と自己実現を図る教育
 - イ グローバル化に対応した教育
 - (6) 幼児期の教育の充実
 - ア 生きる力の基礎を育む教育
 - (7) 信頼される学校づくりの推進
 - ア 学校組織力の向上
 - イ 教職員の資質・指導力の向上
 - ウ 教職員の働き方改革
 - (8) 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
 - ア 学校・家庭・地域の連携と協働
 - イ 家庭・地域の教育支援

(9) 子どもと大人の「学び」が循環する関係づくり

ア 学習成果を活かす仕組みづくり

イ 多様な学習機会の創出

(10) 学びを支える環境の整備

ア 学校の再編

イ 安全安心で充実した環境の整備

教育総務課

1 教育委員会

(1) 開催状況 (令和6年4月～令和7年3月)

定例会 12回 臨時会 1回 協議会 9回

(2) 議案の提出状況 42件 (予算・条例・規則・その他)

(3) 規則および告示

区分	規則・規程	告示	訓令
件数	7件	15件	3件

2 メールカー運行業務

教育委員会事務局と学校その他教育機関と文書等の集配業務を実施している。

(1) 運行箇所

ア 教育委員会事務局と市内公立小学校、中学校、幼稚園、保育所及びその他教育機関 (計41箇所) 間の運行 (令和元年度から直営運行)

イ 教育委員会事務局と阪神教育事務所 (1箇所) 間の運行 (委託)

(2) 運行回数 (上記ア、イとも)

毎週月曜日から金曜日まで1日1回週5回運行

但し、祝日、8月13日～15日及び12月29日～1月3日は除く。

3 学校管理運営費の執行状況 (人件費を含み施設工事・営繕を除く)

区分	決算額 (千円)		摘要
小学校20校	496,638	266,629	管理費 (消耗品、光熱水費、教材備品、図書費等)
		299,944	人件費 (報酬、職員手当等、共済費、旅費)
中学校8校	179,899	119,705	管理費 (消耗品、光熱水費、教材備品、図書費等)
		84,290	人件費 (報酬、職員手当等、共済費、旅費)
特別支援学校1校	31,442	7,323	管理費 (消耗品、光熱水費等、教材備品、図書費等)

		23,637	人件費（報酬、職員手当等、共済費、旅費）
--	--	--------	----------------------

4 市費負担職員に関すること

(1) 職員数（令和6年5月1日現在）（単位：人）

区 分	正規職員	再任用職員	任期付職員	会計年度任用職員	合 計
事務局・教育機関	59	2	1	80	142
小・中・特別支援学校	1	3	1	158	163
合 計	60	5	2	238	305

5 県費負担教職員に関すること

(1) 職員数（令和6年5月1日現在）

ア 小学校

（単位：人）

学 校 名	教 職 員 数	学 校 名	教 職 員 数
三 田 小 学 校	40	松 が 丘 小 学 校	14
三 輪 小 学 校	25	す ず かけ 台 小 学 校	22
志 手 原 小 学 校	13	狭 間 小 学 校	15
藍 小 学 校	13	富 士 小 学 校	22
本 庄 小 学 校	11	あ か し あ 台 小 学 校	31
広 野 小 学 校	15	弥 生 小 学 校	12
小 野 小 学 校	13	つ つ じ が 丘 小 学 校	14
高 平 小 学 校	13	け や き 台 小 学 校	37
母 子 小 学 校	9	学 園 小 学 校	17
武 庫 小 学 校	28	ゆ り の き 台 小 学 校	57
		小 学 校 合 計	421

イ 中学校

（単位：人）

学 校 名	教 職 員 数	学 校 名	教 職 員 数
長 坂 中 学 校	14	け や き 台 中 学 校	35
上 野 台 中 学 校	14	富 士 中 学 校	21
狭 間 中 学 校	27	藍 中 学 校	18
八 景 中 学 校	38	ゆ り の き 台 中 学 校	46
		中 学 校 合 計	213

ウ 特別支援学校

（単位：人）

学 校 名	教 職 員 数		教 職 員 数
ひまわり特別支援学校	27	特別支援学校合計	27

6 学校施設等の概要

(1) 敷地及び校舎の面積（令和7年4月1日現在）

ア 小学校

（単位：㎡）

校 園 名	敷 地 面 積 (㎡)	校 舎 面 積 (㎡)		
		鉄 筋 鉄 骨	木 造	計
三 田 小 学 校	1 6 , 7 5 1	6 , 1 8 0		6 , 1 8 0
三 輪 小 学 校	1 3 , 1 5 7	4 , 7 3 6		4 , 7 3 6
志 手 原 小 学 校	1 6 , 3 6 7	2 , 2 5 5		2 , 2 5 5
藍 小 学 校	1 8 , 1 9 4	2 , 9 7 8		2 , 9 7 8
本 庄 小 学 校	1 5 , 0 3 0	2 , 5 1 7		2 , 5 1 7
広 野 小 学 校	1 4 , 1 8 5	4 , 4 6 8		4 , 4 6 8
小 野 小 学 校	2 0 , 0 1 6	2 , 5 3 7		2 , 5 3 7
高 平 小 学 校	1 5 , 9 0 9	3 , 0 1 9		3 , 0 1 9
母 子 小 学 校	9 , 2 9 3	1 , 4 1 9		1 , 4 1 9
武 庫 小 学 校	2 3 , 0 0 6	6 , 1 2 3		6 , 1 2 3
松 が 丘 小 学 校	2 3 , 1 1 2	4 , 0 8 4		4 , 0 8 4
す ず かけ 台 小 学 校	3 1 , 9 0 2	5 , 8 1 9		5 , 8 1 9
狭 間 小 学 校	2 7 , 5 5 6	5 , 9 8 0		5 , 9 8 0
富 士 小 学 校	2 9 , 4 8 4	4 , 5 3 6		4 , 5 3 6
あ かし あ 台 小 学 校	3 0 , 6 5 5	6 , 4 1 8		6 , 4 1 8
弥 生 小 学 校	2 6 , 6 7 4	5 , 1 9 9		5 , 1 9 9
つ つ じ が 丘 小 学 校	2 7 , 6 2 0	7 , 7 2 1		7 , 7 2 1
け や き 台 小 学 校	2 7 , 7 2 8	5 , 9 8 8		5 , 9 8 8
学 園 小 学 校	2 2 , 2 6 8	7 5 8	3 , 4 5 5	4 , 2 1 3
ゆ り の き 台 小 学 校	2 7 , 8 4 0	7 , 1 4 3		7 , 1 4 3
小 学 校 合 計	4 3 6 , 7 4 7	8 9 , 8 7 8	3 , 4 5 5	9 3 , 3 3 3

イ 中学校

（単位：㎡）

校 園 名	敷 地 面 積 (㎡)	校 舎 面 積 (㎡)		
		鉄 筋 鉄 骨	木 造	計
長 坂 中 学 校	3 0 , 4 1 0	3 , 9 6 3		3 , 9 6 3
上 野 台 中 学 校	2 4 , 1 2 9	3 , 9 8 8		3 , 9 8 8
狭 間 中 学 校	3 0 , 6 9 2	6 , 3 6 0		6 , 3 6 0
八 景 中 学 校	3 6 , 6 6 0	5 , 9 5 3	3 3	5 , 9 8 6
け や き 台 中 学 校	2 9 , 9 2 1	6 , 1 0 3		6 , 1 0 3
富 士 中 学 校	3 1 , 4 0 3	4 , 5 3 8		4 , 5 3 8
藍 中 学 校	3 1 , 0 6 7	5 , 6 0 7		5 , 6 0 7
ゆ り の き 台 中 学 校	4 0 , 7 7 7	7 , 5 0 8		7 , 5 0 8
中 学 校 合 計	2 5 5 , 0 5 9	4 4 , 0 2 0	3 3	4 4 , 0 5 3

ウ 特別支援学校

(単位：㎡)

校 園 名	敷 地 面 積 (㎡)	校 舎 面 積 (㎡)		
		鉄筋鉄骨	木 造	計
ひまわり特別支援学校 (小学部)	—	8 4 9		8 4 9
ひまわり特別支援学校 (中・高等部)	—	1, 3 3 7		1, 3 3 7
特 別 支 援 学 校 合 計	—	2, 1 8 6		2, 1 8 6

※敷地面積は、小学部は富士小学校と、中・高等部は富士中学校と共有

(2) 屋内運動場建築面積及びプール面積

ア 小学校

(単位：㎡)

学 校 名	屋内運動場 (㎡)	プール面積 (㎡)	備 考
三 田 小 学 校	9 1 9	3 7 5	低学年プール有
三 輪 小 学 校	9 1 9	3 7 5	低学年プール有
志 手 原 小 学 校	7 9 3	3 7 5	低学年プール有
藍 小 学 校	6 8 0	3 7 5	低学年プール有
本 庄 小 学 校	7 9 2	3 7 5	低学年プール有
広 野 小 学 校	9 0 6	2 9 8	低学年プール有
小 野 小 学 校	7 9 7	2 8 4	低学年プール有
高 平 小 学 校	9 1 9	2 9 9	低学年プール有
母 子 小 学 校	7 9 4	1 8 0	低学年プール有
武 庫 小 学 校	9 3 4	3 7 5	低学年プール有
松 が 丘 小 学 校	9 1 3	3 7 5	低学年プール有
す ず かけ 台 小 学 校	8 7 7	3 7 5	低学年プール有
狭 間 小 学 校	9 2 8	3 7 5	低学年プール有
富 士 小 学 校	9 1 9	3 7 5	低学年プール有
あ か し あ 台 小 学 校	1, 0 4 9	3 7 5	低学年プール有
弥 生 小 学 校	9 5 5	3 7 5	低学年プール有
つ つ じ が 丘 小 学 校	1, 0 2 3	3 7 5	低学年プール有
け や き 台 小 学 校	1, 0 2 3	3 7 5	低学年プール有
学 園 小 学 校	9 1 9	3 7 5	低学年プール有
ゆ り の き 台 小 学 校	1, 1 8 1	3 7 5	低学年プール有
小 学 校 合 計	1 8, 2 4 0	7, 0 6 1	

イ 中学校

(単位：㎡)

学 校 名	屋内運動場 (㎡)	武道場 (㎡)	プール面積 (㎡)	備 考
長 坂 中 学 校	9 7 8	1 9 7	3 2 5	

上野台中学校	981	200	325	
狭間中学校	1,024	200	325	
八景中学校	1,034	200	325	
けやき台中学校	1,145	197	325	
富士中学校	1,222	199	325	
藍中学校	1,102	196	325	
ゆりのき台中学校	1,222	200	325	
中学校合計	8,708	1,589	2,600	

(3) 教育施設の整備状況（主なもの）（令和6年度）

事業名	概要
三輪小学校大規模改修工事	三輪小学校管理棟の屋根防水、外壁、内装、トイレ、LED改修などの大規模改修工事
学校トイレ洋式化改修工事	市内小中学校（1中学校）の和式便器を洋式便器に改修
学校照明設備改修工事	市内小中学校（2小学校）の校舎の照明設備改修工事
藍中学校防水改修工事	藍中学校校舎屋根の防水改修工事

学校再編課

学校再編の取組状況

1 全般的事項

三田市立小中学校の小規模化に伴うさまざまな課題に対し、平成30年7月に「市立学校のあり方に関する基本方針」を策定し、市立小中学校の適正規模、適正配置の方向性を示した。

平成30年12月に三田市立学校再編計画（第1次計画）を策定（上野台・八景中学校の再編統合）し、現在、開校予定年度や整備予定地を示し、取り組みを進めている。

令和4年度からは、中学校のみならず小学校も含め、検討対象となる学校の範囲をエリアごとに示し、全市的に検討を始めていくことを決定し、児童生徒数の今後の推計や学校の小規模化に伴う課題、望ましい教育環境等について、保護者や学校長との意見交換を行うなどの取り組みを進めている。

■基本方針で示す望ましい学校規模(学級数)

小学校 12～18学級

中学校 9～18学級

■再編対象となるエリアと検討の対象となる学校

	中学校	小学校
上野台、八景中学校 区内の小学校	－統合決定済－ (上野台中、八景中)	志手原小、小野小、高平小、 母子小、松が丘小
フラワータウン内の 小中学校	狭間中、富士中	武庫小、狭間小、富士小、 弥生小
長坂、藍中学校区の 小中学校	長坂中、藍中	本庄小、広野小、藍小、 つつじが丘小

2 校区ごとの取り組み状況

(1)上野台、八景中学校

上野台中学校と八景中学校の統合について、両校の保護者、地域住民による地域協議会を設置し協議を重ねた結果、令和3年12月に統合（新設）に賛同する旨の「最終まとめ」があり、令和4年3月の総合教育会議で市として正式決定した。

これを受け、適地となる候補地を選定するため、令和4年度に庁内プロジェクトチームを設置、令和5年度に外部専門機関に委託し精査するなど、慎重に調査を進め、令和6年12月に整備予定地を公表した。

また、令和6年度には、新中学校整備にあたり、基本構想・基本計画策定に向けたアンケート調査（児童生徒、保護者、教職員等）を実施した。

今後、基本構想・基本計画を策定するとともに、整備予定地の取得にかかる手続きを進めるなど、両校の統合に向けた取り組みを着実に進めていく。

(2) 富士、弥生小学校

令和4年6月からフラワータウン地区の4小学校、2中学校で、「学校のあり方検討会」を設置し、保護者、地域住民と意見交換を行う中で、教育委員会として一定の整理を行った。

その結果、特に小規模化が進む、富士・弥生小学校について、その課題解消を図るため、学校再編に向けて取り組むことを同年12月の総合教育会議で決定し、令和5年2月に両校区の保護者、地域の代表等で組織する「地域協議会」を設置し、協議を開始するとともに、同年3月から5月にかけて、順次説明会(6回)を開催して、意見交換を行うなど、取り組みを進めた。

両校では小規模化の課題に対し、合同で行事や教育活動を実施するなど、教育内容の向上に向けた取り組みが進められているが、一方で、フラワータウンでは、当該校区の中で若年層の誘致、子育て層の移住促進など、まちの再生に向けた取り組みが進められており、こうした状況を受け、令和5年8月から協議を一時中断し、その状況を注視している。

(3) 長坂、藍中学校区

小規模化が見られる長坂、藍中学校及び両中学校区内の小学校に着目し、取り組みを進めている。

長坂、藍中学校の再編については、地域から反対意見を中心に多くの声があり、協議の場で議論を進めることが難しいと判断し、再編計画を取り下げた(令和元年6月)が、学校の小規模化に伴う教育上の課題が解消したわけではない。

そのため、小学校も含めPTA役員等を中心に、小規模な単位で、学校の小規模化の課題について意見交換や学校長への聞き取りなどを実施しており、引き続き、意見交換を重ねる中で、それら課題の解消に向けた具体的な取り組みにつながるよう、様々な方策について幅広く検討していく。

学校教育課

1 学校運営にかかる指導・助言に関すること

(1) 校長会

教育長を中心に、緊急かつ重要な問題の協議及び通知通達の指導を行う。また、小・中・特別支援学校教頭会において連絡協議を行う。

校長会 12回実施（毎月）

教頭会 1回実施（4月）

(2) 資質向上事業

学校教育において、本市の実態に応じた実践を進めるため研修機会を提供し教職員の資質向上を図る。

研修等

研修・講座名	年間 実施回数	のべ 参加者数
学校園所連携推進に係る連絡会	1回	27名
国際理解教育担当者研修会	1回	25名
人権教育担当者研修会	1回	29名
教育相談担当者・スクールカウンセラー・子どものサポーター研修会	1回	42名
スクールソーシャルワーカー連絡協議会	2回	34名
スクールカウンセラー連絡会	1回	7名
生徒指導研修会	1回	30名

(3) 研修事業補助

ア 小学校

学年別人権研修会

イ 中学校

生徒指導研修

2 教育内容に関すること

(1) 三田市あすなろ教室

不登校児童生徒に対する社会的自立のための支援

開設時間：午前9時～午後5時（月曜日～金曜日）

開設場所：三田市相生町26番15号

通所児童生徒数：26名

臨床心理士によるカウンセリングの実施 週2回程度（カウンセラー2名）

カウンセリング相談件数・相談者数199件・176名／年（延べ）

(2) スクールカウンセラー

児童生徒の問題行動等の解決に資するため、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する「スクールカウンセラー」を全中学校及び小学校10校、特別支援学校1校に配置。

スクールカウンセラー配置状況（県費、市費）：

年間15回（1日6時間）特別支援学校1校

年間20回（1日6時間）小学校1校

年間25回（1日6時間）小学校2校

年間30回（1日6時間）小学校2校

年間35回（1日6時間）中学校8校、小学校5校

スクールカウンセラーへの相談件数：5,367件／年（延べ）

スクールカウンセラーが講師となる研修会・講演会実施回数：46回／年

(3) トライやる・ウィーク推進事業

地域や自然の中で様々な体験活動を実施することにより、地域に学び、自分を見つめ、他人を思いやる心情を育てると共に、自律性を高め「生きる力」を育む。

実施校名	実施日	参加生徒数	事業所数
長坂中学校	5月27日～5月31日	32名	19カ所
上野台中学校	6月3日～6月7日	32名	20カ所
狭間中学校	6月3日～6月7日	124名	52カ所
八景中学校	5月27日～5月31日	171名	71カ所
けやき台中学校	6月3日～6月7日	197名	74カ所
富士中学校	5月27日～5月31日	102名	44カ所
藍中学校	6月3日～6月7日	46名	29カ所
ゆりのき台中学校	5月27日～5月31日	268名	79カ所
ひまわり特別支援学校	5月27日～5月31日	3名	3カ所

(4) コミュニティ・スクール推進事業

教育委員会規則に基づいて全29校に学校運営協議会を設置し、連携と協働の活性化にむけ、学校運営協議会及び学校・家庭・地域連携協力推進にかかる合同研修会を実施した。

コミュニティ・スクールとは学校と家庭、地域とが学校教育目標や「めざす子ども像」等のビジョンを共有し、その実現に向けて共に協働していくための仕組みである。その推進のために教育委員会が任命する教員、保護者、地域住民等で構成される学校運営協議会を設置し、学校運営や必要な支援について熟議する場とする。この移行をきっかけとして、学校支援ボランティアをはじめ地域の多様な学校支援活動との一体的推進により活性化を図るきっかけとすることを目指す。

(5) 生徒指導対策事業

いじめ、不登校、問題行動等生徒指導上の課題を解決していくため、学校の組織体制づくり、研修等を実施する。また、スクールソーシャルワーカー等の配置など、児童生徒や保護者の相談・支援体制をつくる。

ア 「三田市いじめ防止基本方針」及び各学校における「学校いじめ防止基本方針」の推進

イ 「三田市いじめ問題対策連絡協議会」及び「三田市いじめ問題対策ネットワーク会議」の開催

ウ 「いじめに関する生活アンケート」の実施（各学期1回）

エ 各学校の「生徒指導委員会」「学校いじめ対応チーム」による組織的な対応

オ 「学校問題サポートチーム（市教育委員会指導主事）」の派遣（いじめ問題に関する校内研修の実施）

(6) 中学校部活動の振興

生徒の健全育成を図るため、部活動を学校教育の一部と位置づけ振興する。

部活動振興補助、中学校体育連盟分担金、音楽連盟負担金

3 在日外国人学校就学補助金

三田市内に居住し、在日外国人学校の初級・中級学校に在籍する児童及び生徒の保護者の経済的負担を軽減し、教育の機会均等を図る。

区 分	児童生徒数	保護者への支給額
在日外国人学校就学補助金	0人	0円

4 附属機関等に関すること

(1) 三田市外国人児童生徒等教育推進委員会

「三田市外国人児童生徒等教育基本方針」の実施について検証し提言する。

(2) 三田市不登校等に関する支援の在り方検討委員会

不登校児童生徒の総合的な研究、検討ならびに直接的な指導の在り方等について研究を推進する。(2回開催)

ア 不登校児童生徒やその保護者に対し、支援団体や学びの場に関する情報提供について検討する。

イ フリースクール等の民間施設や、ICT等を活用した学校での学習支援など、多様な学びの支援方法について検討する。

(3) トライやる・ウィーク推進協議会

各構成団体の協力体制についての協議及び事業実施に向けての啓発協力依頼活動を行う。

(4) 三田市生徒指導等問題対策委員会

三田市で発生したいじめ・暴力行為を含む問題行動事案について検証するとともに、今後の三田市の生徒指導のあり方について協議する。(7回開催)

ア 生徒指導リーフレット「三田市のめざす生徒指導の進め方」に基づく生徒指導の在り方を協議する。

イ いじめアンケートについて児童生徒の実態把握につながる内容になるよう検証、協議する。

(5) 三田市立学校結核対策委員会

学校における今後の結核対策について、児童生徒への感染防止対策、感染者及び発病者の早期発見、早期治療対策、患者発生時の対応等を図る。(1回開催)

5 学校保健に関すること

(単位：名)

検診名等	対象者等	実施人員	実施機関
就学時健康診断	小学1年生入学予定の幼児	813名	学校医
心臓検診	小・中・特別支援学校1年生 (心電図)	1852名	三田市医師会
心臓検診	二次検診	99名	指定の病院
内科検診 (脊柱検査含む)	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8663名	学校医
結核検診	小・中・特別支援学校児童生徒 全員(問診票)	8663名	学校医
	特別支援学校高等部1年生(エ ックス線撮影)	1名	指定の病院
	二次検診	8名	

歯科検診 (年2回)	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8663名	学校歯科医
尿検査	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8663名	検査機関
	二次検診	109名	
眼科検診	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8663名	学校医
耳鼻咽喉科検診	小・中・特別支援学校(小学 1・3・5年生、中学1年生、 高等部1年生)	3816名	学校医
整形外科検診	特別支援学校全員	14名	学校医

6 P T A 連合会に関すること

(1)すべての単位 P T A の代表者が集い、情報交換を行う「三田市 P T A 情報交換会(代表者会)」を年2回開催する。(単位 P T A 数 幼1,小20,中8)

(2) 参加人数等

ア 第1回・・・21名参加(21単位 P T A)

イ 第2回・・・18名参加(18単位 P T A)

7 市立学校児童・生徒数(令和7年3月31日現在)

(1) 小学校

(単位:名)

学 校 名	学級数	児 童 数		計
		男	女	
三田小学校	27	330	307	637
三輪小学校	15	201	191	392
志手原小学校	7	35	24	59
藍小学校	6	36	31	67
本庄小学校	6	18	24	42
広野小学校	9	108	102	210
小野小学校	7	14	16	30
高平小学校	7	46	50	96
母子小学校	3	7	3	10
武庫小学校	19	231	226	457
松が丘小学校	8	57	67	124
すずかけ台小学校	15	175	176	351
狭間小学校	10	109	84	193
富士小学校	14	156	130	286
あかしあ台小学校	21	297	249	546
弥生小学校	7	61	65	126
つつじが丘小学校	9	82	93	175
けやき台小学校	24	348	303	651
学園小学校	12	123	120	243
ゆりのき台小学校	41	585	539	1,124
計20校	267	3,019	2,800	5,819

(2) 中学校

(単位:名)

学 校 名	学級数	生 徒 数		計
		男	女	
長坂中学校	5	57	58	115
上野台中学校	4	50	46	96
狭間中学校	13	192	175	367
八景中学校	19	250	273	523
けやき台中学校	17	280	280	560
富士中学校	9	141	118	259
藍中学校	7	75	63	138
ゆりのき台中学校	25	383	386	769
計8校	99	1,428	1,399	2,827

(3) 特別支援学校

(単位：名)

学 校 名		学級数	児 童 生 徒 数		計
			男	女	
ひまわり 特別支援学校	小学部	3	4	3	7
	中学部	2	2	2	4
	高等部	2	3	0	3
計1校		7	9	5	14

地域クラブ推進課

1 教育内容に関すること

(1) 中学校部活動の振興

ア 生徒の健全育成を図るため、部活動を学校教育の一部と位置づけ振興する。

部活動振興補助、中学校体育連盟分担金、音楽連盟負担金

イ 部活動の在り方検討委員会

年間2回開催（令和6年8月1日、12月2日）

(2) 部活動指導員の配置

部活動指導体制の充実を推進し、部活動指導の質的な向上を図るとともに、部活動を担当する教員の負担軽減を図る。

2 学校部活動の地域展開に関すること

(1) 地域クラブの設置

生涯を通じて子どもたちが、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができるよう、地域資源をいかした持続可能で多様な環境を整備する。

ア 令和6年度地域スポーツクラブ体制整備事業（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）

イ 部活動の地域移行に向けた推進委員会

年間3回実施（令和6年7月25日、12月19日、令和7年2月6日）

ウ 保護者説明会 令和6年11月18日から12月9日にかけて、市内市民センターで合計10回開催

エ 地域クラブの運営団体の公募 令和7年1月

オ 地域クラブ指導者謝礼

指導者を支援することにより、低廉な会費を実現し保護者負担の軽減を図る。

(2) 各種協会との連携

三田市スポーツ協会・文化協会が運営主体となった地域クラブを設置することにより、子どもたちが将来にわたり継続的に活動できる環境を整える。

教育支援課

1 特別支援教育の推進に関すること

LD・ADHD等発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する指導や支援体制づくり等、より一層の特別支援教育の充実を図る。

(1) 相談事業

ア 来所型教育相談（電話相談）（面接相談）（外部専門員相談）（療法士相談） 272件

イ 訪問型教育相談（巡回相談）（校内委員会訪問支援） 271件

ウ 就学相談 112件

(2) 教育支援事業

ア 特別支援アシスタント配置：4300時間

イ 学校生活支援教員配置：小学校拠点6校・巡回11校
中学校拠点3校・巡回5校

(3) 「心のバリアフリー」推進事業「特別支援学校自然体験活動」

小学部・中学部・高等部：7月11日～7月12日 於：しあわせの村
(児童生徒 計10名が参加)

(4) サポートファイル活用推進

計634名

(5) その他

特別支援教育推進にかかる学校訪問、コーディネーター等ネットワーク会議、教育相談支援チーム連絡会他

2 特別支援教育にかかる教職員の指導・助言に関すること

(1) 資質向上事業

特別支援教育に関して、本市の実態に応じた実践を進めるため研修機会を提供し、教職員の資質向上を図る。

ア 研修等

研修・講座名	年間実施回数	のべ参加者数
特別支援教育研修講座 基礎研修講座	2回	51名
特別支援教育研修講座 選択課題別研修講座	10回	174名
特別支援教育研修講座 授業・保育実践研修講座及び教育相談実地研修講座	2回	2名
特別支援教育研修講座 コーディネーター研修講座	3回	44名
特別支援教育研修講座 自立活動に関する指導実地研修	3回	44名
特別支援教育支援員研修会（指導員・自立支援員・指導補助員）	4回	179名

(2) 研修事業補助

ア 小学校

特別支援教育研修会

イ 中学校

特別支援教育研究会

3 遠距離通学費補助

三田市立小学校及び中学校の児童生徒等について、通学が著しく困難である者に対して通学費を補助し、学校教育の円滑な運営と保護者負担の軽減を図る。

区 分		校数	人数	補助金額	備考
通学定期代	小学校	4校	92名	4,140,720円	
	中学校	2校	75名	10,080,850円	
通学用品費	小学校	2校	3名	15,000円	上限 5,000円
	中学校	3校	52名	513,251円	上限10,000円
合 計		11校	222名	14,749,821円	

4 就学援助費及び就学奨励費

義務教育の円滑な実施を図るため、経済的な理由によって就学困難な児童及び生徒に対して、就学援助費を支給する。また、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援教育就学奨励費を支給する。

区 分		児童生徒数	保護者への支給額
就学援助費	小学校	423名	27,726,844円
	中学校	219名	20,787,520円
計		642名	48,514,364円

人数：3月末認定者数

区 分		児童生徒数	保護者への支給額
就学援助費 (入学準備金)	小学校	44名	2,510,640円
	中学校	57名	3,591,000円
計		101名	6,101,640円

区 分		児童生徒数	保護者への支給額
特別支援教育 就学奨励費	小学校	135名	4,289,680円
	中学校	57名	3,641,511円
計		192名	7,931,191円

5 高等学校等入学支援金

高等学校等への入学に伴う費用の一部を支給することにより、経済的理由のため就学が困難であると認められる者の自立と進学を促進するため、高等学校等入学支援金（給付型・返還不要）を支給する。

区 分	生徒数	保護者への支給額
高等学校等入学支援金	7名	442,400円

※ 三田市奨学金（貸付型・返還要）は平成29年度で貸付終了

6 特別支援学校児童生徒送迎業務

特別支援学校に通学する児童生徒を各乗降場所と学校間に公用車（ともだち号）を使用し送迎する。

- (1) 運行方法 委託業務（昭和61年度から）
- (2) 委託費 15,345,691円
- (3) 運行台数 4台
- (4) 乗車人員 10名

7 附属機関に関すること

(1) 教育支援委員会

心身に障害を有する児童生徒に対して、適正な就学指導を行う。（12回開催）

教育研修所

1 教職員の指導・助言に関すること

(1) 資質向上事業

学校教育において、本市の実態に応じた実践を進めるため研修機会を提供し教職員の資質向上を図る。

ア 研修等

研修・講座名	年間実施回数	のべ参加者数
初任者研修校外研修（設置者別研修）	3回	33名
教職員全体研修会	1回	634名
個人情報保護にかかる研修会	1回	669名
校園長・教育委員研修会	1回	33名
教頭研修会	1回	23名
主幹教諭研修会	1回	51名
教務主任研修会	1回	30名
2年次教員研修に係る共通研修	1回	11名
3年次教員研修に係る共通研修	1回	14名
臨時的任用教員研修会	1回	31名
拠点校指導員研修会及び連絡会	1回	4名
学校司書研修会	5回	51名
研究推進担当教員研修会	1回	29名
応急手当普及員受講者再講習	6回	24名
道徳教育研修会	1回	32名
「三田の英語教育」説明会及び研修会	3回	96名
小学校外国語教育推進リーダー研修会（小学校担当者会）	2回	42名
小学校英語専科教員研修会及び連絡会	2回	14名
ALT・小学校外国語活動サポーター研修会	2回	21名
情報教育担当者研修会	1回	29名
教育研究グループ・学校指導員公開授業	1回	15名
学校指導員研修会	3回	25名
教育研究グループ（説明会、実践交流会）	2回	81名
学校経営いろは	10回	85名
夏季特別講座	8回	142名
授業づくり講座	10回	139名
自主研修講座 STEP	10回	79名
事務職員研修会（若年者、全体）	2回	39名
専科教員資質向上研修（外国語・算数）	2回	52名
まなびポケット研修会	1回	34名
	総参加者数	2562名

イ 三田市立学校指導員派遣事業

指導員（小・特別支援学校）：11名 派遣回数：51回

(2) 指定研究の推進

テーマに基づいた研究の活性化を図るための指導・支援

ア 奨励・・・小学校7校、中学校8校

「「学びに向かう力」を高める学校をめざして」	藍小学校
「主体的に学び、対話を通して考えを深める児童の育成」	本庄小学校
「主体的に学習に取り組み、自分の考えを表現できる子の育成」	小野小学校
「自ら考え、表現する高平っ子」	高平小学校
「気づき合い、認め合い、つながり合おうとする子どもをめざして」	富士小学校
「人と豊かに関わり、なりたい自分に向けて努力する児童の育成」	あかしあ台小学校
「“タイ”が生まれる楽しい授業」	つつじが丘小学校
「カリキュラムマネジメントの充実を図り、生徒一人ひとりの表現（自分の考えを相手に適切に伝える力）の育成を目指す」	長坂中学校
「個別最適な学びと協働的な学びを意図した授業デザインに関する研究」	上野台中学校
「目標と指導の一体化を目指した教育活動の展開」	狭間中学校
「地域とともにある学校づくり」	八景中学校
「心かよいあう学校“つながる”“つなぐ”支援を目指して」	けやき台中学校
「特別支援教育の視点を活かした、主体的・対話的で深い学びの実現する授業づくり」	富士中学校
「保護者との良好な関係づくり」	藍中学校
「個別最適な学びを目指したICT教育」	ゆりのき台中学校

イ 指定・・・小学校10校、特別支援学校1校

「豊かな人間性を育む道德教育の推進」	三田小学校
「プログラミング・ICTを活用した授業づくり」	志手原小学校
「子どもの深い学びをめざしたつなぐ力の育成」	母子小学校
「ことばを使って豊かに表現する子どもたちの育成」	広野小学校
「伝え合い、高め合いながら、学ぶ力を身につけていく子をめざして」	すずかけ台小学校
「学びを「つなぐ」子どもの育成」	狭間小学校
「地域や仲間と関わり合い 主体的に学習に取り組む子ども」	弥生小学校
「学びに向かう力を育てる」	けやき台小学校
「一人ひとりを大切にする集団づくり」	学園小学校
「人とつながり、課題解決に向かう子どもをめざして」	ゆりのき台小学校
「課題を明確にした授業の実践」	ひまわり特別支援学校

ウ 特別指定・・・小学校3校、中学校0校

「学びで人をつなぐ」	三輪小学校
「自ら考え、共に学び合う子どもの育成」	武庫小学校
「問いをつなぎ、主体的に学ぶ子供をめざして」	松が丘小学校

(3) 研修事業補助

ア 小学校

教員共同研究担当者会

イ 中学校

教科部会研究

2 教育内容に関すること

(1) 自然学校推進事業

様々な体験活動を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に対する畏敬の念、感動する心、共に生きる心を育むなど、「生きる力」を育成することを目的とする。

実施校名	実施日(4泊5日)	実施場所
三田小学校	9/ 9 ~ 9/13	国立淡路青少年交流の家 県立嬉野台生涯教育センター 三木ホースランドパーク 県立南但馬自然学校 県立奥猪名健康の郷 他
三輪小学校	9/ 9 ~ 9/13	
志手原・小野・母子小学校	7/ 1 ~ 7/ 5	
藍小学校	10/14 ~ 10/18	
本庄小学校	9/ 3 ~ 9/ 7	
広野小学校	7/ 1 ~ 7/ 5	
高平小学校	6/29 ~ 7/ 3	
武庫小学校	9/ 2 ~ 9/ 6	
松が丘小学校	7/ 8 ~ 7/12	
すずかけ台小学校	9/ 2 ~ 9/ 6	
狭間小学校	9/ 2 ~ 9/ 6	
富士小学校	9/21 ~ 9/25	
あかしあ台小学校	9/16 ~ 9/20	
弥生小学校	9/21 ~ 9/25	
つつじが丘小学校	9/24 ~ 9/28	
けやき台小学校	6/24 ~ 6/28	
学園小学校	9/12 ~ 9/16	
ゆりのき台小学校	9/14 ~ 9/18	

(2) 英語教育推進事業

小中学校9年間、就学前から11年間を見通した「三田の英語教育」を進め、小学校外国語活動・外国語(英語)、中学校英語教育において外国人英語指導助手(A L T)等を起用するとともに、中学校3年生に外国人講師によるマンツーマンのオンライン英語授業を実施し、児童生徒のコミュニケーション能力の素地及び基礎を養う。

ア A L T (4名) 1回あたり勤務時間7.25時間

年間延べ日数748日

イ J E TプログラムA L T (2名) 1回あたり勤務時間7時間

年間延べ日数 394日

ウ 外国語活動サポーター(9名) 1日最大6時間まで

年間総配置時数 1,460時間

エ オンライン英語授業(年3回)

年間延べ実施回数 2,600回

(3) ICT教育推進事業

三田市立小・中・特別支援学校における情報教育の推進のため、学校のICT環境を整備する。

ア 全児童生徒、授業を行う教員にタブレット端末を配布し、活用した。端末破損に備え、三田市独自で任意加入のタブレット端末保険を準備した。

イ 小学校20校に指導者用デジタル教科書（生活、音楽、図工、家庭、道徳、英語）を整備した。また、それらを教員用タブレット端末からも活用できるようにした。

ウ 授業や校務でのタブレット端末の活用方法について、対面での研修に加えて、ビデオ会議ツールを活用したオンライン研修や、動画配信によるオンデマンド型の研修を行い、教員のICT機器の活用を推進した。

エ 総合学習アプリを活用した個別最適な学び、協働的な学びの実現に向け、デジタルを活用した教育を推進した。

(4) 友好都市交流事業

友好都市である鳥羽市との交流を通じて互いの市の様子について理解を深めるとともに、友好の精神を育む。（母子小学校と神島小学校による交流）

※令和6年度は、オンラインによる授業交流を実施。

3 附属機関に関すること

(1) 三田市教科用図書選定委員会

三田市立の小学校・中学校及び特別支援学校小・中学部の教科用図書の採択に関する事務を行う。（2回開催）

学校給食課（学校給食センター）

1 学校給食運営協議会

学校給食に関する重要な事項及び三田市立学校給食センターの運営に関する事項についての調査審議を行っています。

- (1) 委員構成 保護者、学校長等（9名以内）
- (2) 開催回数 1回（令和6年度）
- (3) 主な議案事項
 - 学校給食にかかる予算の概要
 - 食育推進の取り組み（“食べチャオさんだ！”食育推進事業計画）
 - 給食食材の放射能検査の実施結果 ほか

2 学校給食の栄養管理、献立の作成、衛生管理等に関すること

(1) 学校給食の提供

週5日間（うち、米飯給食週4回）完全給食を給食センターにおいて実施しています。

- 米飯は、週4回（月、火、木、金）。週1回（水曜日）はパンを提供しています。
- 成長期に欠かせない栄養源として、200ml紙パックの普通牛乳を提供しています。
- 主菜・副菜・汁物などのおかずは給食センターで調理しています。

(2) 献立作成・栄養摂取

栄養所要量と食品構成表に基づくバランスのとれた、魅力ある献立を作成しています。

- 学校給食摂取基準に基づき、1日に必要な栄養量の1/3を目安に献立を作成しています。
- 加工品は、なるべく食品添加物やアレルゲンの少ないものを選んでいきます。できるだけ国内産の食材を使用し、地場野菜も積極的に活用しています。
- 季節の行事食で日本の伝統文化や旬の食べ物の良さを、カムカム献立でかみごたえのあるものを、世界の料理、まごわやさしい献立、リクエスト献立などで、食事の楽しさを伝えています。

(3) 給食用物資の調達

ア 物資選定委員会

給食に使用される食材や物資の選定を行う学校給食用物資納入業者を選定し、献立に基づき月毎又は学期毎に価格、サンプル、原材料配合表などを検討し物資を選定しています。

イ 物資選定委員 保護者、学校長、栄養教諭

ウ 物資選定委員会の開催 11回（令和6年度）

(4) 衛生管理など安全な給食提供の取り組み

ア 給食センターの衛生管理

イ 調理職員に対する健康

イ 給食食材の衛生管理

ウ 調理職員への研修

エ 給食受入施設の衛生状況

3 食育の推進〔食育推進事業〕

学校での食育と連携し、給食を「生きた教材」として活用し、子どもたちの望ましい食習慣を促進し食に対する関心を育む食育推進事業等を実施しています。

区分	目的[事業]
学校給食	給食を「生きた教材」として活用し、児童・生徒が望ましい食習慣を身に付けることを促進するとともに、食に対する興味や関心を育む [給食時間の指導、卒業おめでとう給食選挙（給食アンケート）]
	学校や園の菜園で育てた野菜を給食に取り入れ、収穫の喜びや美味しさを共に味わい、感謝の心を育む。 [学校・園で育てた野菜の提供]
募集	自然豊かな三田の食材を味わう喜びや楽しさ、そして生産者への感謝の気持ちを絵と言葉で表現した絵手紙を募集。 [絵手紙コンクール(12年目)]
	子どもたちが「三田の給食といえばこれ！」と言えるような新たな「三田のご当地グルメ」を考案し、学校給食の献立への提案を行う。 [「三田のご当地給食」の開発]
食育啓発	三田の学校給食の魅力や食育の大切さについて、広く市民に啓発する。[食育に関する作品展示]

4 地産地消の取り組み

年間を通じて「三田米（どんとこい）」や県産米を使用し、地元食材を積極的に活用しました。6月には、環境保全型農業で栽培された環境創造米コシヒカリを特別に提供し、子どもたちに地元の恵みを味わいながら環境保全型農業への理解を深める機会を提供しました。また、1月には、三田市特産の「丹波黒」の規格外品を使用した「丹波黒大豆枝豆コロケ」を提供し、食品ロス削減と地域農業の理解促進に貢献しました。さらに通年でJA兵庫六甲と連携し、地場産野菜の利用率向上に努めました。

5 調理職員の労働安全など人材育成

- (1) 労働安全衛生委員会
- (2) 労働安全衛生委員会による職場巡視

6 学校給食費

- (1) 会計 平成24年4月より公会計を導入
- (2) 給食費徴収額 (単位：円)

区 分	1食当たり給食費		月額給食費	
	条例	軽減後	条例	軽減後
小 学 校 (ひまわり特別支援学校小学部含む)	279	238	4,570	3,900
中 学 校 (ひまわり特別支援学校中学部・高等部含む)	323	275	5,290	4,500
幼 稚 園	246	210	3,450	2,940

※物価上昇による保護者負担を軽減するため、実質徴収額については軽減しています。

7 給食センターに関すること

(1) 給食センターの概要 (令和6年5月1日現在)

センター名	面積 (m ²)		構造	調理能力	給食開始	備考
	敷地	建物				
ゆりのき台 給食センター	10,660.40	1,667.00	鉄筋 コンクリート	8,000食 (日)	H2.9	
清水山 給食センター	6,510.00	1,328.00	鉄筋 コンクリート	4,000食 (日)	H5.9	

(2) 学校給食用物資の発注及び検収

給食センターにて物資を発注するとともに、納品された物資の品質、鮮度、品温等について検収し、衛生状況の確認を行っています。

(3) 給食調理施設(副食物の調理と食器食缶等の洗浄消毒及び保管)

多様な献立に対応できるように、調理技術の向上を図り、常に質の高い給食を提供しています。調理機器を導入し、効率的かつ衛生的な調理作業を推進しています。食器や食缶の洗浄消毒は、徹底した衛生管理のもと、専用の洗浄機を使用し、適切な温度管理と洗剤の使用により、洗浄消毒を行っています。

(4) 給食の配送

安全かつ迅速な配送体制を構築し、各学校への温かい給食の提供を徹底しています。配送車両の衛生管理も徹底し、食中毒のリスク低減に努めています。配送時間の厳守と、学校との密な連携により、円滑な給食提供を実現しています。

[配送体制] (令和6年5月1日現在)

センター名	区分	学 校 ・ 園
清水山 給食センター トラック5台 (担当:17校園)	小学校	三田・三輪・志手原・小野・高平・母子・松が丘
	中学校	上野台・八景・けやき台
	幼稚園	三田・三輪・志手原・小野・松が丘・高平
	県立特別支援学校	上野ヶ原
ゆりのき台 給食センター トラック8台 (担当:20校園)	小学校	藍・本庄・広野・武庫・すずかけ台・狭間・富士・あかしあ台・弥生・つつじが丘・けやき台・学園・ゆりのき台
	中学校	長坂・狭間・富士・藍・ゆりのき台
	幼稚園	みつば
	特別支援学校	ひまわり

※トラックは、予備車両を含みません。